

令和8年度 63回生 授業概要（シラバス）

科目名	暮らしを支える看護技術Ⅱ	分野/教育内容	専門分野/地域・在宅看護論
開講年次 時期	2年後期 令和8年10月	単位数/時間	1単位/15時間
担当講師名	大黒 ひろみ 先生	所属・役職	宮古山口訪問看護ステーション 所長
		資格・免許	看護師
授業の概要	地域で療養する人々に必要な医療管理技術を学ぶ。		
到達目標	1. 医療的処置を必要とする療養者の特徴とヘルスアセスメントについて理解できる 2. 在宅における医療的管理の方法と留意点について理解できる		
事前学習 内容	・講義に関連する基礎看護技術について復習してきてください。 ・講義に関連する章を熟読してから受講してください。		
成績評価の 方法	1) 終講試験 100 点満点（6 割未満は再試験対象） 2) 出席状況		
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 地域在宅看護論② 地域療養を支える技術：メディカ出版 学生用：【電子版】第3版第2刷、2026. 講師用：【紙版】 第3版第2刷、2026. ナーシンググラフィカ 地域在宅看護論① 地域療養を支えるケア：メディカ出版 学生用：【電子版】第8版第2刷、2026. 講師用：【紙版】 第8版第1刷、2025.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	医療ケアの原理原則 薬物療法、がん外来化学療法		講義
第2回	排痰ケア、気管カニューレ管理 在宅酸素療法（HOT）		講義
第3回	在宅人工呼吸療法（HMV） ・非侵襲的陽圧換気療法（NPPV） ・気管切開下間歇的陽圧換気療法（TPPV）		講義
第4回	排尿ケア、ストーマ管理		講義
第5回	在宅経管栄養法（HEN）、輸液管理		講義
第6回	褥瘡管理、足病変のケア、インスリン自己注射		講義
第7回	在宅 CAPD 管理、疼痛管理		講義
履修上の留 意点	・既習の知識（病態・基礎看護技術・制度）を活用しながら在宅特有の看護援助方法を学習できるように、関連事項について主体的に予習・復習に取り組みましょう。 ・グループワークを行う際は、相手の考えを尊重する姿勢で臨むとともに、自己の考えを積極的に発言しましょう。 ・授業資料や自己学習の成果物は、3年次の地域・在宅看護論実習に活用できるようファイリングしておきましょう。		